

授業科目名 <英訳>	サンスクリット語学サンスクリット文学(講義) History of Sanskrit Literature				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 藤井 正人					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	月3	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
題目	サンスクリット文献史(ヴェーダ文献)										
【授業の概要・目的】											
ヴェーダからウパニシャッドに至るヴェーダ文献の歴史をたどることによって、古代インドの宗教と思想の展開と、古代インド文化の基本的な特徴を学ぶ。											
【到達目標】											
ヴェーダ文献に関する基本的な知識を習得するとともに、文献資料を通して古代インドの社会と文化の実像を解明するサンスクリット文献学の方法と有用性を理解する。											
【授業計画と内容】											
第1回 古代インドの歴史と言語 第2回 ヴェーダとはどのような文献か 第3回 リグ・ヴェーダについて 第4回 リグ・ヴェーダを読む(1) 第5回 リグ・ヴェーダを読む(2) 第6回 ヤジュル・ヴェーダ、サーマ・ヴェーダ、アタルヴァ・ヴェーダ 第7回 ヴェーダ祭式(1) 第8回 ヴェーダ祭式(2) 第9回 ブラーフマナ文献 第10回 ヴェーダ祭式の思想性 第11回 輪廻思想の成立 第12回 初期ウパニシャッド 第13回 中期ウパニシャッド 第14回 ダルマ・スートラからダルマ・シャーストラへ 第15回 定期試験 第16回 フィードバック(方法は授業中に指示する)											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
定期試験を行う。ヴェーダ文献について、一般の概説に基づいてではなく、授業の内容に即して理解しているかどうかで評価する。そのために出席状況を評価に反映させる。											
----- サンスクリット語学サンスクリット文学(講義)(2)へ続く -----											

サンスクリット語学サンスクリット文学(講義)(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

予習は必要ない。板書しながら講義をするので、確実にノートに筆記すること。毎回、授業後、筆記したものを再確認して理解を深めておくこと。

(その他(オフィスアワー等))

サンスクリット文献全般について学ぶために、サンスクリット文献史(叙事詩以降)も受講することが望ましい。また、インド思想のその後の展開を知るためには、インド哲学史を受講することをすすめる。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。